

袋井市地域公共交通計画の数値目標の評価及び今年度の事業計画について

令和3年3月に策定した袋井市地域公共交通計画に基づき、「公共交通が移動手段として選ばれるまち」を実現するために位置付けた事業の取組みについて、事業の評価・検証を実施します。また、今後の事業計画についても併せて検討します。

1 令和5年度の主な取組み内容

1-② 基幹バス路線の維持・改善

◆ 系統の見直し

秋葉バス「秋葉中遠線」について、利用状況を考慮のうえ浅名系統を廃止し、横須賀系統を増便することで、顧客ニーズに合った見直しを行った。

＜実施主体：バス事業者＞

◆ バス停名称の統一

秋葉バス「秋葉中遠線」バス停「浅羽支所」及び、市自主運行バス「南部循環線」バス停「浅羽町商工会前」について、同じ場所に設置しているバス停であることから、利用者に分かりやすくするため、バス停名称を「浅羽支所入口」に統一した。

＜実施主体：バス事業者、市＞

2-① 地域主体の移動手段の確保

◆ 「地域タクシー」試験運行の実施、本格導入に向けた協議（袋井東地区）

地域主体の新たな移動手段である地域タクシーの導入に向け、集中支援地区として計画に位置付けている袋井東地区において、本格導入に向けて年間を通じた試験運行を実施した。（令和5年4月～令和6年3月実施）

また、試験運行結果をもとに、令和6年度本格導入に向け、地域及び運行事業者との協議を実施した。 ＜実施主体：地域、タクシー事業者、市＞

【参考…資料1】

◆ 「地域タクシー」試験運行の実施（笠原地区）

袋井東地区と同様に集中支援地区としている笠原地区において、令和4年度に発足した移動手段検討会で検討を重ね、地域タクシーの試験運行を実施した。（令和5年11月～令和6年1月実施） ＜実施主体：地域、タクシー事業者、市＞

【参考…資料2】

7-① 通学を対象とした路線バスの利用促進策の実施

◆ 市内高校体験入学におけるチラシ配布

市内高校（袋井高校、袋井商業高校）において、中学生の一日体験入学を実施した際に、路線バスの通学利用を案内するチラシを作成し、配布した。

＜実施主体：市、バス事業者、高校＞



7-② 大人のバス乗り方教室の開催

8-① 運転士の人材確保

◆ 市内イベントへの出展

市内イベント「ふれあい夢市場」(令和5年11月開催)において、秋葉バス車両及び市自主運行バス車両を展示した。運転士も参加し、来場者に自由に見学やご質問をいただいた。 <実施主体：バス事業者、市>

- ・ 展示物 バス車両、運転士募集に関するポスター
- ・ 配布物 路線図・時刻表、バス乗り方チラシ、運転士募集チラシ、啓発グッズ、ぬり絵、ペーパークラフト



◆ 市ホームページ等への記事掲載

公共交通の運転士という仕事について、市民に広く興味を持ってもらえるよう、次のとおり記事掲載等を実施した。

<実施主体：市、バス・タクシー事業者>

- ・ 市ホームページに公共交通の運転士に関するページを作成した。
- ・ 「はたちの集い」記念誌送付対象者への市事業お知らせチラシに記事を掲載した。
- ・ 「広報ふくろい」へのお知らせ掲載及び、市役所1階の行政情報放映モニターでの放映を申請した。

(※令和6年5月掲載・放映分)

バスやタクシーの運転士をめざしてみませんか？

お問い合わせ ショップする お問い合わせ

更新日：2024年03月06日

バスやタクシーの運転士は、地域の皆さんの移動手段を支えるやりがいのある仕事です。地元が好きの方、地元で働きたい方、地域を支える公共交通の担い手をめざしてみませんか？

1 バス運転士について知りたい方

(1) バス運転士の仕事について知りたい方

バス運転士の仕事について知りたい方は、次のホームページをご覧ください。

・「公益社団法人 日本バス協会」(<https://www.jbus.or.jp/>)

→「バス事業について」(<https://www.jbus.or.jp/business/>)

→「バスのお仕事」(<https://www.jbus.or.jp/business/job/>)

→「バスの仕事をみつけよう！」(<https://www.jbus.or.jp/career/index.html>)

※「バス運転士就職支援ガイドパンフレット(日本バス協会 令和2年3月作成)」が掲載されています。

→「バスの運転士さんの一日」(<https://www.jbus.or.jp/career/driver.html>)

・「一般社団法人 静岡県バス協会」(<http://www.shizuoka-bus-kyokai.or.jp/>)

(2) バス運転士として働きたい方、事業者の説明を聞いてみたい方

市内を運行する民間バス路線の事業者は、次の1社です。

求人や採用に関する情報は、事業者に直接お問い合わせください。

事業者名	秋葉バスサービス株式会社
ホームページ	https://www.akibaibus.co.jp/
電話番号	0538-65-2141
所在地	岡部郡岡部町2368番地の1

市 HP「バスやタクシーの運転士をめざしてみませんか？」QR コード



その他

◆ デマンドタクシー利用者登録申請の電子申請受付を開始

デマンドタクシーの利用者登録申請における利便性を向上させるため、電子申請による受付を開始した。(令和6年3月開始) <実施主体：市>

市 HP「デマンドタクシー」
QR コード



デマンドタクシー利用者登録申請

入力状況 0%

袋井市の「デマンドタクシー利用者登録申請」のオンライン申請ページです。

デマンドタクシー利用者登録申請
デマンドタクシー（予約型乗合タクシー）の利用者登録を申請する手続きです。

[制度詳細についてはこちら](#)

ログインして申請に進む

ログインしていただく、申請の 保留が可能です。

または

メールを認証して申請に進む

◆ 高齢者が集まる場でのチラシ配布

運転免許自主返納を検討のきっかけとなるよう、高齢者が集まる教室やイベント等の場で、交通安全や電動アシスト自転車購入費補助等のチラシと併せて、静岡県警察の「運転免許自主返納者サポート店」制度のチラシを配布した。

<実施主体：市、警察>



(静岡県警察HPから)

その他、各事業（別紙）「袋井市地域公共交通計画に基づく実施事業」参照

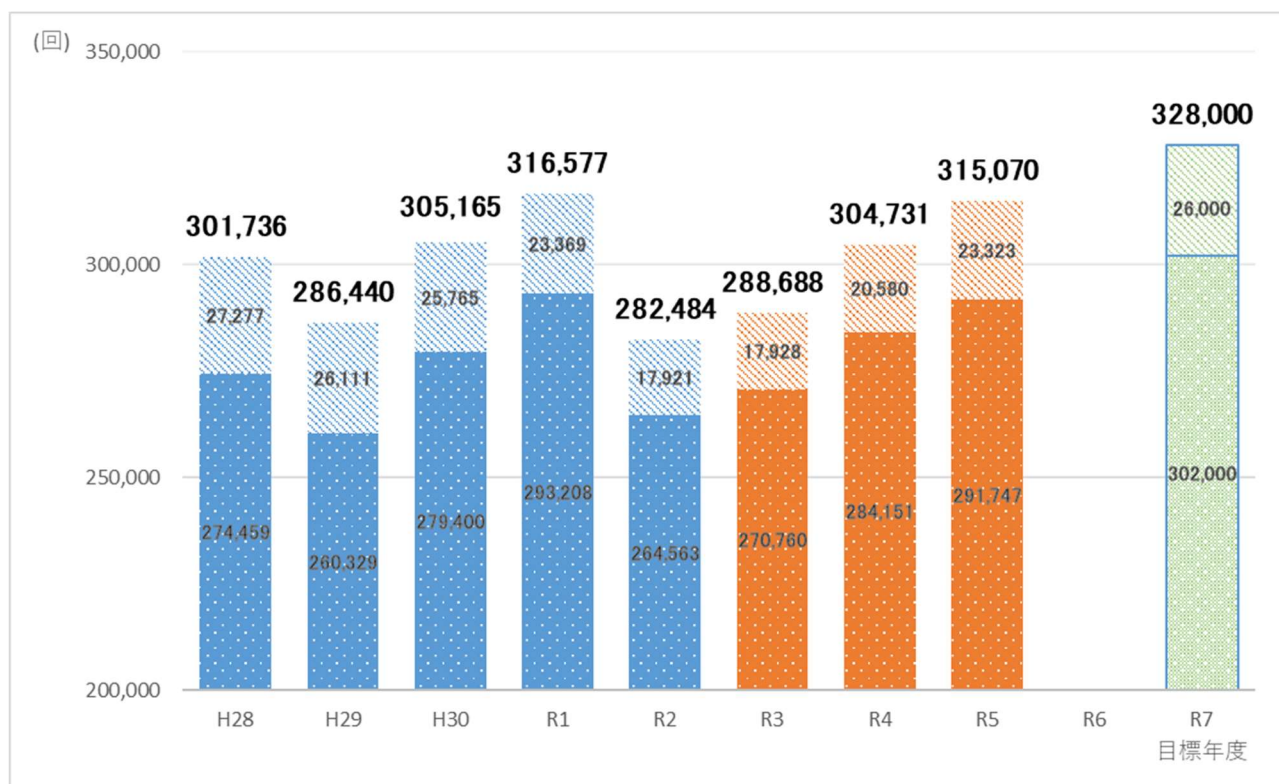
(別紙) 袋井市地域公共交通計画に基づく実施事業

区分	事業名	事業概要	実施主体	実施期間					目標1	目標2	目標3	令和5年度以前の取り組み
				R3	R4	R5	R6	R7	公認市 共識交 通して も日常 から える	公選移 共人動 通んで も手 段と して える	公地 共域 交で 通支 え 合 う	
運行のレベルアップ	1 基幹路線の質の向上	1-① 鉄道の維持	・鉄道の運行	鉄道事業者	●	●	●	●	●	●		・継続実施
		1-② 基幹バス路線の維持・改善	・通学・通勤手段として基幹バス路線(秋葉線・秋葉中遠線)の維持・改善(系統・経由地・バス停位置改善等)	バス事業者/地域公共交通会議/袋井市	●	●	●	●	●	●		・危険なバス停の安全対策実施 ・袋井駅・中東遠総合医療センター線のバス停追加 ・ 系統の見直し、バス停名称の統一
		1-③ 市内高校への通学路線の確保・維持	・市内高校へのバス路線の確保・維持・魅力化	バス事業者/地域公共交通会議/袋井市	●	●	●	●	●	●		・1日体験入学時の啓発チラシ配付 ・袋井駅・中東遠総合医療センター線の経路変更、バス停追加
	2 地域の移動手段の確立	2-① 地域主体の移動手段の確保	・地域主体の新たな移動手段の導入実験・運行 ・地域の移動手段を考える会の設立・支援	市民(自治会等)/タクシー等交通事業者/地域公共交通会議/袋井市	●	●	●	●	●	●	●	・地域タクシーの導入に向けた試験運行実施(袋井東地区)、 地域タクシーの試験運行実施 (笠原地区)
		2-② 持続可能な地域協働運行バスの構築	・持続可能な運行方法の検討・移行	地域協働運行バス運営委員会/袋井市	●	●	●	●	●	●	●	・運行体制の見直し、地区別説明会の実施(三川地区)
サービスのレベルアップ	3 お得な運賃制度	3-① 運賃割引制度の導入	・基幹バス路線等における運賃割引制度の実証実験	バス事業者/袋井市	●	●	●	●	●	●		
		3-② バス通学定期券購入費補助制度の導入	・高校生のバス通学定期券購入費の一部を補助	バス事業者/袋井市/教育機関	●	●	●	●	●	●		
		3-③ 運転免許証返納者割引制度の導入	・高齢者の運転免許証自主返納者に対する運賃割引制度	交通事業者/袋井市/警察	●	●	●	●	●	●		
	4 分かりやすい情報提供	4-① 路線バスの情報化	・バスデータを活用した情報提供 ・袋井駅や主要施設におけるデジタルサイネージ等の設置	バス事業者/袋井市	●	●	●	●	●	●		・バスロケーションシステムの導入 ・Googleマップ等経路検索サイトへの掲載(継続) ・JR袋井駅改札前へのデジタルサイネージの設置
	5 乗継・待合環境改善	5-① バス停におけるサイクル&バスライド駐輪場の整備	・基幹バス路線のバス停におけるサイクル&バスライド駐輪場の整備	バス事業者/袋井市/道路管理者	●	●	●	●	●	●		・浅羽支所バス停隣接地の駐輪場に転倒防止の輪留めを設置 ・ 浅羽図書館駐輪場の利用状況調査を計画
		5-② バス停待合環境の改善	・利用者の多いバス停や主要施設のバス停の待合環境整備	バス事業者/袋井市/道路管理者	●	●	●	●	●	●		・袋井駅南バス停の新設、上屋設置
	6 UD	6-① 車両のバリアフリー化	・ノンステップバスの導入 ・ユニバーサルデザインタクシーの導入	バス・タクシー事業者/地域公共交通会議/袋井市	●	●	●	●	●	●		・自主運行バスの車両更新(手すり+ステップ付き、ハイルーフ仕様)
関係者意識のレベルアップ	7 意識変革	7-① 通学を対象とした路線バスの利用促進策の実施	・バスロケーションシステムによるリアルタイム情報提供 ・高校別時刻表の作成等	バス事業者/袋井市/教育機関	●	●	●	●	●	●		・バスロケーションシステムの導入 ・JR袋井駅改札前へのデジタルサイネージの設置 ・ 市内高校体験入学でのチラシ配布
		7-② 大人のバス乗り方教室の開催	・運転免許証自主返納者等を対象としたバスの乗り方教室の実施	コミュニティセンター/シニアクラブ/交通事業者/袋井市	●	●	●	●	●	●	●	・シニアクラブ袋井市より市内各団体へ自主運行バスの時刻表、路線図を配付 ・ 市内イベント出展(バス展示、乗り方チラシ配布)
		7-③ ちびっこバス乗り方教室の開催	・小学生を対象とした楽しく学べるバスの乗り方教室の実施	袋井市/交通事業者/小学校	●	●	●	●	●	●	●	・市内小学校へバスの乗り方教室を実施
		7-④ 公共交通ガイドの作成	・公共交通総合ガイドブックの作成 ・新たな移動手段の分かりやすい乗り方案内の作成	袋井市/交通事業者/地域公共交通会議	●	●	●	●	●	●		・利用啓発のチラシに乗り方案内を記載
	8 人材確保 安心確保	8-① 運転士の人材確保	・交通事業者と連携した就労支援	交通事業者/袋井市	●	●	●	●	●	●	●	・第二種運転免許取得費用助成制度を導入 ・ 市内イベント出展(バス展示、運転士参加、ポスター掲示、チラシ配布)、市広報紙・HP等への掲載
		8-② 公共交通の安心対策	・感染症拡大防止の取り組みの徹底と啓発活動実施	交通事業者/袋井市	●	●	●	●	●	●		・市広報誌や社内掲示を実施

… 令和5年度に事業を実施した分野

2 数値目標の評価

評価指標 1：路線バス等の年間利用回数



※上段：自主運行バス等（自主運行バス、デマンドタクシー、地域協働運行バス）

下段：路線バス（秋葉バスサービス(株)が運行する路線）

（１）達成状況・分析

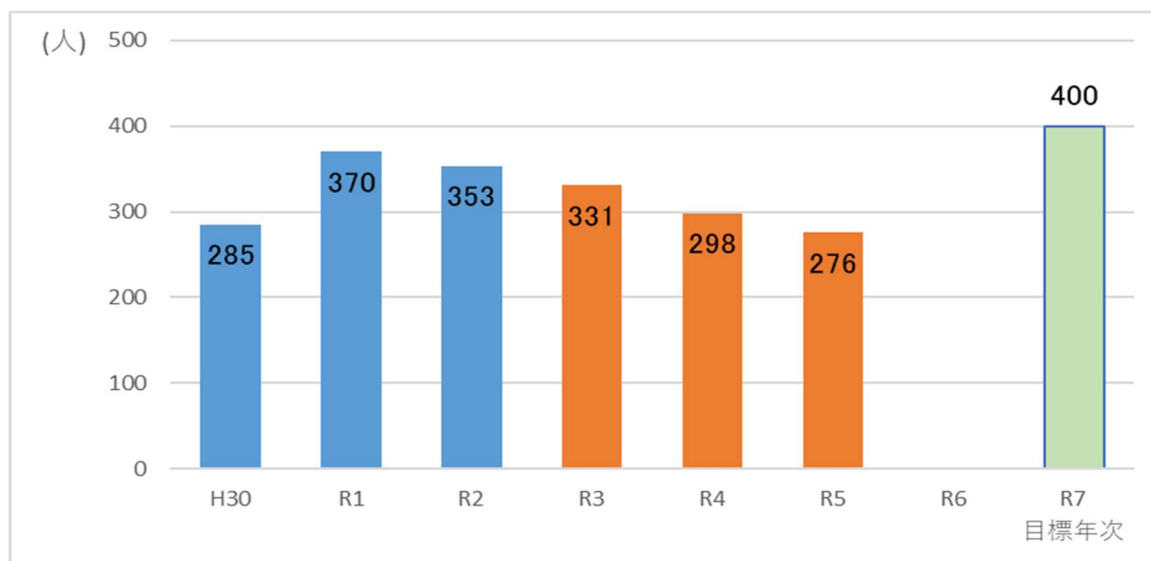
路線改変による高校の通学利用も一部加わり、コロナ禍により大きく減少した令和2年度以降は回復傾向にあり、令和5年度の利用回数は、コロナ禍前の令和元年度比99.5%まで回復した。

（２）評価・次年度に向けた課題や取組

袋井駅南の商業施設を始め、沿線施設（商業施設、医療機関、公共施設）の規利用者の取り込みのため、更なるPR活動や周知方法の改善を実施する。

自主運行バスは令和7年4月がからの新たな運行に向け、利用実績等をもとに路線及びダイヤの見直しを実施する。

評価指標 2-1：運転免許証の自主返納者数



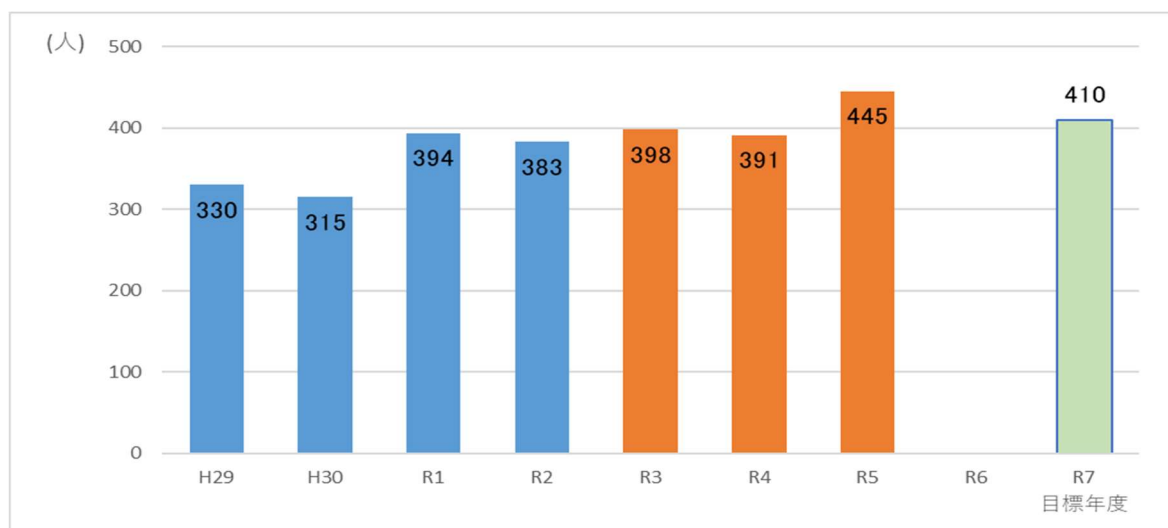
(1) 達成状況・分析

返納者数が大きく上昇した令和元年度からは減少傾向となっている。自主返納者においては、返納と同時に運転免許経歴証明書の発行を申請する方が多いが、同証明書の発行を必要としない方などで、免許の失効を待つ方も一定数いると考えられる。

(2) 評価・次年度に向けた課題や取組

令和4年5月から高齢者の運転免許更新が厳格化されたことも踏まえ、その内容を周知するとともに、公共交通のメリットをアピールし、引き続き免許証の返納の促進を図る。また、警察署と連携した取り組みを検討していく。

評価指標 2-2：路線バスの通学定期券の利用人数



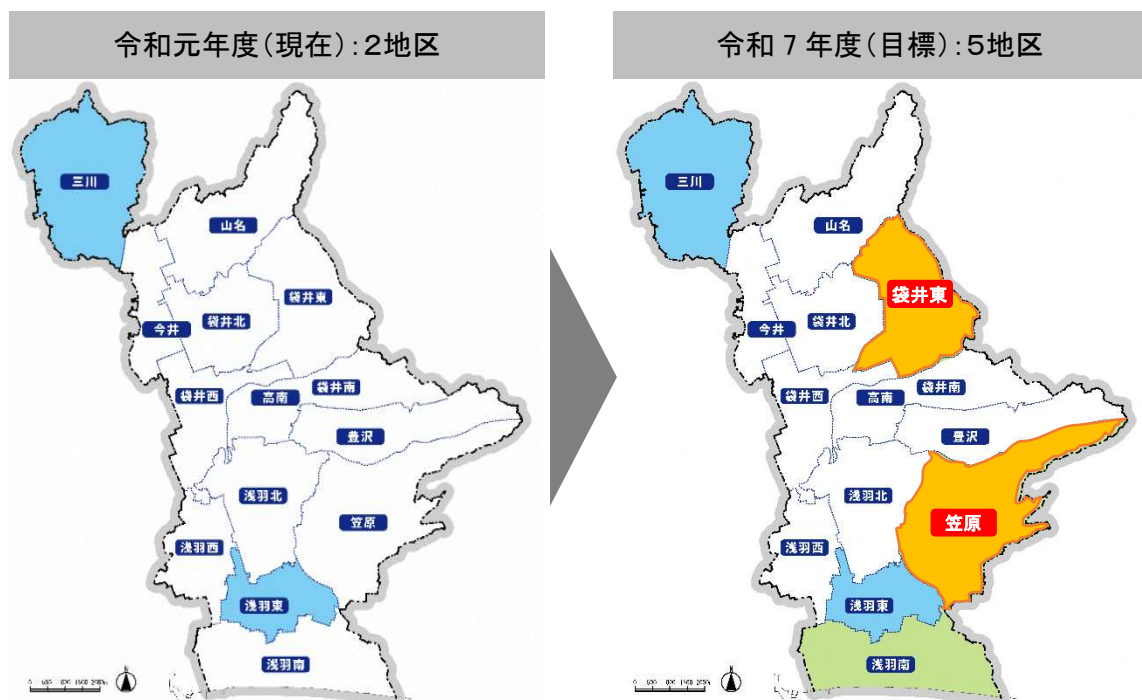
(1) 達成状況・分析

「袋井駅・中東遠総合医療センター線」の利用者数を始め、路線バスの利用者数が増加しており、通学定期券の利用人数は、昨年度と比較し13.8%増加した。

(2) 評価・次年度に向けた課題や取組

高校や近隣市町と連携した周知を行うとともに、進学を控えた中学生向けへのPR活動も併せて実施していく。

評価指標 3：地域主体による移動手段の運行地区数



(1) 達成状況・分析

令和5年度は、袋井東地区及び笠原地区において地域タクシーの試験運行を実施しており、運行地区数は4地区とした。

(2) 評価・次年度に向けた課題や取組

袋井東地区において、地域タクシーの本格運行を実施する。

笠原地区においては、試験の運行の結果、地域タクシーの継続は困難となったため、引き続き、地域に合った移動手段を検討していく。

その他地区においても、地域主体による移動手段に関する勉強会を行うなどし、導入の可能性を検討する。

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

袋井市地域公共交通計画の評価等結果（令和5年4月～令和6年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
路線バス等の年間利用回数：316,577回/年（令和元年度実績）→ 328,000回/年 （令和7年度目標）	計画に位置付ける各種事業の実施	交通事業者や市が有する年間の公共交通利用回数	・315,070回/年（令和5年度） ・路線改変による高校の通学利用も一部加わり、コロナ禍により大きく減少した令和2年度からは回復傾向にあり、利用回数は昨年度に続き増加した。 （令和4年度：304,731回/年）	・袋井駅南の商業施設を始め、沿線施設（商業施設、医療機関、公共施設）の規制利用者の取り込みのため、更なるPR活動や周知方法の改善を実施する。 ・自主運行バスは令和7年4月からの新たな運行に向け、利用実績等をもとに路線及びダイヤの見直しを実施する。	
運転免許証の自主返納者数：353人（令和2年実績）→ 400人 （令和7年目標）	高齢運転者が安心して運転免許証を自主返納できる交通環境の整備	袋井警察署が有する年間の運転免許返納者数	・276人/年（令和5年） ・令和元年度をピークに減少傾向にある。免許の失効を待つ方も一定数いると考えられる。 （令和4年度：298人/年）	・令和4年中に高齢者の運転免許更新が厳格化されたことも踏まえ、その内容を周知するとともに、公共交通のメリットをアピールし、引き続き免許証の返納の促進を図る。また、警察署と連携した取り組みを検討していく。	年単位（1月～12月）の期間で算出
路線バスの通学定期券の利用人数：394人（令和元年度実績）→ 410人 （令和7年度目標）	高校生が通学手段として公共交通を選択できるためのサービス提供	交通事業者が有する年間の通学定期券購入者数	・445人（令和5年度） ・路線全体の利用者数が増加しており、通学定期券の利用人数は、昨年度と比較し増加した。 （令和4年度：391人）	・高校や近隣市町と連携した周知を行うとともに、進学を控えた中学生向けへのPR活動も併せて実施していく。	
地域主体による移動手段の運行地区数：2地区（令和元年度実績）→ 5地区 （令和7年度目標）	公共交通に対する市民の意識を高め、地域ごとに地域主体の移動手段を導入	運行地区数	・4地区（令和5年度） ・袋井東地区及び笠原地区にて地域タクシーの試験運行を実施した。 （令和4年度：3地区）	・袋井東地区において、本格運行を実施する。 ・笠原地区において、試験運行の結果を受け、地域に合った移動手段の検討を継続する。 ・他地区においても勉強会を行うなどし、導入の可能性を検討する。	

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（○年○月～○年○月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

3 令和6年度の事業計画について

令和3年3月に策定した袋井市地域公共交通計画に基づき、「公共交通が移動手段として選ばれるまち」を実現するために位置付けた事業を実施していきます。

(1) スケジュール

月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
内容	●5/31【第1回会議】 ・公共交通の状況 ・ <u>今年度事業計画</u> ・袋井市地域公共交通計画の一部改訂について ・袋井市地域公共交通計画（別紙）							●8月頃【第2回会議】 ・自主運行バス及びデマンドタクシーの運行検討			●12月頃【第3回会議】 ・ <u>事業評価、検証</u> ・ <u>事業見直し、次年度事業検討</u> ・地域公共交通確保維持改善事業（自己評価）	

(2) 主な取組み事業

（袋井市地域公共交通計画（P15～）目標を達成するために行う事業）

2-① 地域主体の移動手段の確保

◆ 袋井東地区タクシー（地域タクシー）の本格運行開始

令和3年度からの試験運行結果をふまえて、地域タクシーの本格運行を開始する。

◆ 笠原地区での検討継続

笠原地区では、令和4年度に検討委員会を発足し、令和5年度に地域タクシーの試験運行を実施したが、本格運行には至らなかった。引き続き、地域に合った移動手段を検討していく。

◆ 他地区

地域主体による移動手段に関する勉強会を行うなどし、導入の可能性を検討する。

3-① 運賃割引制度の導入

◆ 「ハッピーライド in 静岡プロジェクト」への参加

路線バスへの乗車機会を提供する本プロジェクトの実行委員会に参画し、市内小学生に路線バス1日無料乗車券を配布する。

5-① バス停におけるサイクル&バスライド駐輪場の整備

◆ バス利用者向け駐輪場の整備

秋葉バス及び自主運行バス停留所近隣の施設・事業所等に対して、バス利用者を対象とした駐輪場の開放について、協力を依頼する。

7-② 大人のバス乗り方教室の開催

◆ 大人向けのバス乗り方教室の実施

バスの乗車方法を体験することで、バスをより身近に感じ、気軽に利用してもらえるよう、イベント等の集客が見込まれる場において、実際のバス車両を利用したバスの乗り方教室を実施する。

◆ 自主運行バスの乗車体験会等の実施

自主運行バスを日常生活で利用するイメージを持ってもらえるよう、自主運行バス沿線の地域で、買い物等への具体的な活用イメージを示す説明会や、乗車体験会等を実施する。

1-② 基幹バス路線の維持・改善

基幹バス路線を維持するため、系統の見直しや利便性向上、生活バス路線補助のあり方について、交通事業者（秋葉バスサービス(株)）との検討を実施する。

1-③ 市内高校への通学路線の確保・維持

袋井駅・中東遠総合医療センター線の利用状況の検証とともに、中学校や高校と連携したPR活動を実施する。

8-① 運転士の人材確保

市内タクシー事業者の乗務員の第二種運転免許取得費用の補助事業を実施するとともに、市広報紙やイベント等の場で、公共交通の運転士の仕事についてPRを実施する。

その他

免許自主返納者数の増加を目指し、警察署と連携した取り組みを検討する。